

## 1. 機関別貨物輸送量の推移

## (1) 北海道内(相互間)機関別輸送量の推移

(単位:千トン、%)

区分 年度	鉄 道			自 動 車			内航海運	航 空	合 計	前年度 対比
	J	R	JR以外 の鉄道	計	営 業 用	自 家 用				
28	309 ( 0.1 )	416 ( 0.2 )	725 ( 0.3 )	205,918 ( 82.8 )	34,794 ( 14.0 )	240,712 ( 96.8 )	7,146 ( 2.9 )	1 ( 0.0 )	248,584 ( 100.0 )	97.7
29	312 ( 0.1 )	473 ( 0.2 )	785 ( 0.3 )	206,959 ( 83.1 )	33,863 ( 13.6 )	240,822 ( 96.7 )	7,475 ( 3.0 )	1 ( 0.0 )	249,083 ( 100.0 )	100.2
30	316 ( 0.1 )	129 ( 0.1 )	445 ( 0.2 )	203,658 ( 83.1 )	33,686 ( 13.7 )	237,344 ( 96.9 )	7,263 ( 3.0 )	1 ( 0.0 )	245,053 ( 100.0 )	98.4
元	279 ( 0.1 )	0 ( 0.0 )	279 ( 0.1 )	199,104 ( 83.3 )	32,619 ( 13.7 )	231,723 ( 97.0 )	6,904 ( 2.9 )	1 ( 0.0 )	238,907 ( 100.0 )	97.5
2	271 ( 0.1 )	0 ( 0.0 )	271 ( 0.1 )	171,898 ( 81.3 )	32,855 ( 15.5 )	204,753 ( 96.8 )	6,536 ( 3.1 )	1 ( 0.0 )	211,561 ( 100.0 )	88.6
3	270 ( 0.1 )	0 ( 0.0 )	270 ( 0.1 )	162,155 ( 79.6 )	34,234 ( 16.8 )	196,389 ( 96.4 )	6,989 ( 3.4 )	1 ( 0.0 )	203,649 ( 100.0 )	96.3
3/28	87.4	0.0	37.2	78.7	98.4	81.6	97.8	100.0	81.9	

- (注) 1. JRは27年度までJR貨物資料、28年度より「貨物・旅客地域流動調査」、JR以外の鉄道は北海道運輸局資料、自動車は「自動車輸送統計年報」、内航海運は「港湾統計流動表」、航空は「航空輸送統計年報」による
2. 自動車は、特種(殊)用途車を除く数値
3. 内航海運は暦年の数値で、単位は千フレート・トン
4. ( )内数値は、輸送機関別シェア
5. 3/28は平成28年度を100と表している

## (2) 道内一道外間機関別輸送量の推移

(単位:千トン、%)

区分 年度	J R	内航海運	フェリー	航 空	合 計	前年度 対比
28	4,508 ( 7.5 )	49,439 ( 81.7 )	6,312 ( 10.4 )	219 ( 0.4 )	60,478 ( 100.0 )	100.9
29	4,534 ( 7.5 )	50,653 ( 83.3 )	5,419 ( 8.9 )	211 ( 0.3 )	60,817 ( 100.0 )	100.6
30	4,303 ( 7.4 )	49,510 ( 84.7 )	4,469 ( 7.6 )	184 ( 0.3 )	58,466 ( 100.0 )	96.1
元	4,189 ( 7.4 )	45,426 ( 80.1 )	6,953 ( 12.3 )	170 ( 0.3 )	56,738 ( 100.0 )	97.0
2	4,045 ( 8.0 )	42,627 ( 83.9 )	4,027 ( 7.9 )	96 ( 0.2 )	50,795 ( 100.0 )	89.5
3	3,868 ( 8.0 )	41,990 ( 87.0 )	2,297 ( 4.8 )	110 ( 0.2 )	48,265 ( 100.0 )	95.0
3/28	85.8	84.9	36.4	50.2	79.8	

- (注) 1. JR、フェリーは「貨物・旅客地域流動調査」、内航海運は「港湾統計流動表」、航空は「航空輸送統計年報」による
2. ( )内は輸送機関別シェア
3. 内航海運は暦年の数値で、単位は千フレート・トン
4. フェリーとは、フェリーで運ばれたトラックの積載貨物トン数
5. 3/28は平成28年度を100と表している

## 2. 品目別地域別貨物輸送量(令和3年度)

(単位:千トン、%)

区分 品目別	道 内				移 出				移 入			
	鉄 道	海 運	自動車	計	鉄 道	海 運	自動車	計	鉄 道	海 運	自動車	計
農 水 産 品	0	248	40,521	40,769	0	1,410	435	1,845	0	377	349	726
林 産 品	0	4	8,618	8,622	0	489	63	552	0	199	9	208
鉱 産 品	0	2,151	55,564	57,715	0	2,838	0	2,838	0	3,878	0	3,878
金 属 ・ 機 械 工 業 品	0	414	18,721	19,135	0	6,079	91	6,170	0	6,571	99	6,670
化 学 工 業 品	0	4,490	39,825	44,316	0	4,678	0	4,678	0	7,411	55	7,466
軽 工 業 品	0	88	24,849	24,938	0	1,892	246	2,139	0	1,106	284	1,390
雑 工 業 品	0	40	8,445	8,485	0	174	31	205	0	1,084	209	1,293
特 種 品	0	869	90,053	90,922	0	923	208	1,131	0	3,685	218	3,903
そ の 他	270	0	0	271	1,857	2	0	1,859	2,011	0	0	2,011
計	270	8,306	286,591	295,173	1,857	18,485	1,074	21,416	2,011	24,311	1,223	27,546

(注) 1. 「貨物・旅客地域流動調査」による

2. 端数は四捨五入で処理しているので計の数字と内訳の数字が一致しない場合がある

### 3. 機関別地域間貨物流動表(令和3年度)

		北海道	北東北	東東北	西東北	東関東	北関東	京浜葉	新潟	北陸	甲信	静岡	中京	近畿	阪神	山陰	山陽	山口	北四国	南四国	北九州	中九州	南九州	沖縄	全国計	
北海道	発	鉄道	270	64	95	46	111	222	333	52	39	51	53	175	58	239	10	77	9	39	16	119	27	23	0	2,128
		海運	8,306	1,174	1,489	838	4,075	0	5,053	387	1,616	0	89	1,716	81	700	56	80	273	74	13	330	303	126	11	26,791
		自動車	286,596	114	148	20	61	64	402	45	0	0	22	117	26	35	0	0	9	0	0	11	0	0	0	287,665
		計	295,173	1,353	1,732	904	4,247	285	5,789	484	1,654	51	165	2,008	165	974	66	157	290	114	29	460	330	149	11	316,584
	着	鉄道	270	58	125	45	140	220	523	94	69	45	118	161	45	172	7	50	10	43	16	47	15	8	0	2,281
		海運	8,306	3,464	3,607	584	4,948	0	6,628	202	1,251	0	148	1,996	50	201	18	306	422	91	44	169	168	12	0	32,617
		自動車	286,596	167	136	18	73	267	368	48	7	0	0	41	2	45	0	4	9	3	0	11	0	22	0	287,815
		計	295,173	3,689	3,869	647	5,162	487	7,519	343	1,327	45	266	2,199	97	418	25	361	442	136	60	227	184	42	0	322,713

- (注) 1. 「貨物・旅客地域流動調査」による  
 2. 端数は四捨五入して処理しているので計の数字と内訳の数字が一致しない場合がある

#### 地域の範囲

地域の名称	地域の範囲(都道府県名)	地域の名称	地域の範囲(都道府県名)
北海道	北海道	近畿	滋賀、京都、奈良、和歌山
北東北	青森、岩手	阪神	大阪、兵庫
東東北	宮城、福島	山陰	鳥取、島根
西東北	秋田、山形	山陽	岡山、広島
東関東	茨城、栃木	山口	山口
北関東	群馬、埼玉	北四国	香川、愛媛
京浜葉	千葉、東京、神奈川	南四国	徳島、高知
新潟	新潟	北九州	福岡、佐賀、長崎
北陸	富山、石川、福井	中九州	熊本、大分
甲信	山梨、長野	南九州	宮崎、鹿児島
静岡	静岡	沖縄	沖縄
中京	岐阜、愛知、三重		

## 4. 支局別貨物自動車運送事業者数及び車両数

(令和5年3月31日現在)

支局別	一般トラック		特積トラック		特 定		霊 柩	
	事 業 者 数	届 出 車両数	事 業 者 数	届 出 車両数	事 業 者 数	届 出 車両数	事 業 者 数	届 出 車両数
札 幌	1,662	36,621	19	232	14	64	102	578
函 館	272	4,844	2	24	2	9	49	117
旭 川	398	8,849	1	24	4	8	50	182
室 蘭	356	21,446	0	0	1	5	36	161
釧 路	264	8,728	0	4	3	4	20	79
帯 広	341	7,542	0	8	4	19	21	88
北 見	197	4,402	0	0	4	10	19	73
合 計	3,490	92,432	22	292	32	119	297	1,278

- (注) 1. 北海道運輸局資料による。  
2. 特積トラック欄の事業者数は、一般トラックの内数である。  
3. 特積トラック欄の車両数は、運行車で一般トラックの内数である。  
4. 霊柩自動車と普通自動車の両種別の事業用自動車を保有している事業者にあつては、一般の方に事業者数を計上し、霊柩には車両数のみを計上し、事業者数には計上しない。

## 5. 貨物自動車運送事業の推移

年度	一 般 ト ラ ッ ク			特 積 ト ラ ッ ク		
	事業者数	車両数	前年対比	事業者数	車両数	前年対比
29	3,471	89,971	102.3	22	301	96.5
30	3,496	92,266	102.6	22	302	100.3
元	3,470	93,728	101.6	22	316	104.6
2	3,491	96,541	103.0	22	298	94.3
3	3,526	97,476	101.0	22	297	99.7
4	3,490	92,432	94.8	22	292	98.3
4/29	100.5	102.7		100.0	97.0	

- (注) 1. 霊柩を含まない。  
2. 4/29は平成29年度を100と表している。

## 6. 規模別貨物自動車運送事業者数

## (1) 一般トラック(特積を除く)

(令和5年3月31日現在)

資 本 金		従 業 員		車 両 数	
50万円まで	83	10人まで	1,657	5両まで	894
51～100万円まで	109	11～20人まで	796	6～10両まで	868
101～200万円まで	56	21～30人まで	349	11～15両まで	439
201～300万円まで	529	31～50人まで	287	16～20両まで	267
301～500万円まで	391	51～70人まで	85	21～30両まで	315
501～1,000万円まで	1,015	71～100人まで	70	31～50両まで	276
1,001～3,000万円まで	784	101～200人まで	70	51～100両まで	184
3,001～5,000万円まで	217	201～300人まで	17	101～200両まで	68
5,001～10,000万円まで	79	301～1,000人まで	10	201～500両まで	23
10,001万円以上	21	1,001人以上	1	501両以上	8
その他	58				
計	3,342	計	3,342	計	3,342

- (注) 1. 北海道運輸局資料による  
2. 資本金の欄中その他は、公営及び個人である  
3. 霊柩は含まない  
4. 本社所在地が道外にある事業者は事業者数から除く

## (2) 特積トラック

(令和5年3月31日現在)

資 本 金		従 業 員		車 両 数	
50万円まで	0	10人まで	0	5両まで	0
51～100万円まで	0	11～20人まで	0	6～10両まで	0
101～200万円まで	0	21～30人まで	0	11～15両まで	1
201～300万円まで	0	31～50人まで	1	16～20両まで	0
301～500万円まで	0	51～70人まで	1	21～30両まで	0
501～1,000万円まで	0	71～100人まで	1	31～50両まで	2
1,001～3,000万円まで	4	101～200人まで	5	51～100両まで	2
3,001～5,000万円まで	1	201～300人まで	0	101～200両まで	3
5,001～10,000万円まで	8	301～1,000人まで	6	201～500両まで	2
10,001万円以上	1	1,001人以上	0	501両以上	4
計	14	計	14	計	14

- (注) 1. 北海道運輸局資料による  
2. 本社所在地が道外にある事業者は事業者数から除く

## 7. 支局別土砂等を運搬する大型自動車数

(令和4年12月31日現在)

種別 支局別	営業用 ④	自家用						計
		③	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
札幌	4,945	742	23	2	20	786	205	6,723
函館	689	58	7	3	19	107	36	919
旭川	1,631	35	16	6	53	252	145	2,138
室蘭	1,087	72	17	12	17	169	90	1,464
釧路	658	82	5	0	31	150	67	993
帯広	1,209	31	0	0	20	118	85	1,463
北見	978	10	2	2	11	108	84	1,195
計	11,197	1,030	70	25	171	1,690	712	14,895

(注) 1. 北海道運輸局資料による。

2. 業態別内訳

④ 自動車運送事業

③ 砂利販売業

⑤ 採石業

⑥ 砕石業

⑦ 砂利採取業

⑧ 建設業

⑨ その他

## 8. 貨物自動車品 目別輸送量の推移

(単位：千トン、%)

品目 年度	穀物	野菜・果物	その他の農産品	畜産品	水産品	木材	薪炭	石炭	金属鉱	砂利・砂・石材	工業用非金属鉱物	金属	金属製品	機械	窯業品	石油製品	コークス・その他の石炭製品
	28	9,947	8,332	5,704	10,405	6,703	11,161	29	3,481	604	33,758	2,262	5,266	4,802	9,313	12,144	15,261
29	4,098	10,275	3,970	8,258	8,786	14,336	48	2,523	188	41,045	2,010	6,709	4,765	11,134	10,416	12,798	78
30	2,903	10,750	1,767	5,658	11,531	12,178	588	5,345	108	32,737	1,988	6,332	4,713	12,887	11,494	8,483	106
元	5,386	11,678	4,243	11,070	9,431	14,132	91	2,093	1,109	31,949	1,005	6,931	4,432	11,675	10,976	8,219	95
2	3,377	6,959	7,544	8,980	2,548	8,817	61	3,081	756	50,651	2,865	3,785	3,151	11,398	18,435	10,910	68
3	4,474	6,593	10,229	12,341	3,363	7,619	30	2,457	223	43,432	1,642	4,177	3,287	10,346	19,139	10,894	734
3/28	45.0	79.1	179.3	118.6	50.2	68.3	103.4	70.6	36.9	128.7	72.6	79.3	68.5	111.1	157.6	71.4	1,095.5

品目 年度	化学薬品	化学肥料	染料・塗料・その他の化学工業品	紙・パルプ	繊維工業品	食料工業品	日用品	ゴム製品・木製品その他の製造工業品	くずもの	動・植物性飼・肥料	廃棄物	輸送用容器	取り合わせ品	分類不能のもの	合計	前年度対比
	28	924	5,155	6,234	11,194	249	42,431	14,022	572	3,975	13,750	28,473	2,721	22,225	0	291,164
29	1,490	2,821	7,695	7,070	833	36,503	15,291	312	4,777	13,531	39,064	1,305	18,726	0	290,855	99.9
30	1,361	5,053	5,269	21,346	286	43,263	14,212	463	13,905	9,339	28,735	1,349	11,758	0	285,907	98.3
元	722	3,240	4,756	8,286	364	42,492	16,748	980	8,700	14,963	26,427	2,484	14,375	0	279,052	97.6
2	568	2,602	1,275	3,431	340	13,261	6,076	377	4,854	17,299	46,418	2,323	6,282	0	248,492	89.0
3	260	2,462	1,251	4,564	137	12,756	6,384	516	3,989	13,743	49,318	1,701	7,752	0	245,813	98.9
3/28	28.1	47.8	20.1	40.8	55.0	30.1	45.5	90.2	100.4	99.9	173.2	62.5	34.9	-	84.4	

- (注)
- 「自動車輸送統計年報」による
  - 端数は四捨五入で処理しているので計の数字と内訳の数字が一致しない場合がある
  - 3/28は平成28年度を100と表している

### 9. JR貨物鉄道品目別輸送量の推移

(単位：千トン、%)

品目 年度	石炭	コークス	砂利	鉱石	石灰石	その他の 鉱産品	パルプ 用材	原木・ 製材その 他の木 材	その他 の林産品	米	麦	生野菜	飼料	その他 の農産品	畜産品	鮮魚 冷凍魚	その他 の水産品	鉄鋼 材	産業用 その他 の機器	自動車
	29	(-)	(-)	(-)	(13)	(-)	(4)	(-)	(4)	(-)	(129)	(-)	(866)	(16)	(75)	(6)	(-)	(17)	(2)	(57)
30	(-)	(-)	(-)	(11)	(-)	(3)	(-)	(4)	(-)	(119)	(1)	(739)	(14)	(74)	(4)	(-)	(17)	(2)	(56)	(-)
元	(-)	(-)	(-)	(3)	(-)	(2)	(-)	(3)	(1)	(120)	(1)	(781)	(16)	(66)	(4)	(-)	(16)	(2)	(43)	(-)
2	(-)	(-)	(-)	(7)	(-)	(2)	(-)	(2)	(1)	(107)	(1)	(793)	(16)	(66)	(4)	(-)	(16)	(2)	(36)	(-)
3	(-)	(-)	(-)	(7)	(-)	(2)	(-)	(2)	(-)	(107)	(1)	(675)	(17)	(73)	(5)	(-)	(16)	(2)	(36)	(-)
4	(-)	(-)	(-)	(3)	(-)	(3)	(-)	(2)	(-)	(119)	(0)	(679)	(15)	(75)	(7)	(-)	(16)	(2)	(37)	(-)
4/29																				

品目 年度	甲種 鉄道 車両	その他 の金属 機械 工業品	肥料	石油	セメント	ガラスと その製品	薬業製品	化学製品	その他 の化学 工業品	酒・ ビール	その他 の食料 工業品	パルプ 紙とそ の製品	繊維 原料 その他	その他 の工業 部品	小混 口載	その他	コンテ ナ扱	合計	前年度 対比
	29	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	2,550	2,551
30	(-)	(34)	(4)	(-)	(1)	(10)	(-)	(44)	(27)	(13)	(578)	(79)	(6)	(135)	(12)	(513)	(-)	(2,551)	99.6
元	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	2,378	2,378	93.2
2	1	(35)	(3)	(-)	(1)	(9)	(1)	(45)	(31)	(15)	(572)	(60)	(7)	(133)	(11)	(314)	(-)	(2,378)	97.2
3	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	2,310	2,311	97.4
4	1	(32)	(2)	(-)	(1)	(8)	(1)	(43)	(31)	(15)	(553)	(54)	(7)	(130)	(10)	(274)	(-)	(2,310)	97.4
4/29	100.0																84.3	84.2	100.8

- (注) 1. JR貨物資料による  
 2. 道内発送品目に限る(本州から移入分は除外)  
 3. 端数は四捨五入しているので計の数字と内訳の数字が一致しない場合がある  
 4. ( )書きは、コンテナ貨物を品目別に分類し車扱貨物に加えた数値  
 5. 4/29は平成29年度を100と表している



## 10. JR以外の鉄道品目別輸送量の推移

(単位：千トン、%)

品目 年度	石 炭	その他	合 計	前年度 対 比
29	473	—	473	113.7
30	129	—	129	27.3
元	—	—	—	—
2	—	—	—	—
3	—	—	—	—
4	—	—	—	—
4/29	—	—	—	—

- (注) 1. 北海道運輸局資料による  
 2. 端数が四捨五入で処理しているので計の数字と内訳の数字が一致しない場合がある  
 3. 小口扱を除く  
 4. 4/29は平成29年度を100と表している

## 11. 貨物利用運送事業

### (1) 貨物利用運送事業者数の推移

事業種別	30			元			2			3			4		
	鉄 道	自 動 車	内 航	鉄 道	自 動 車	内 航	鉄 道	自 動 車	内 航	鉄 道	自 動 車	内 航	鉄 道	自 動 車	内 航
第一種利用運送	9	978	66	9	989	65	9	1,016	65	9	1,043	64	9	1,060	64
第二種利用運送	186	—	91	187	—	98	187	—	100	188	—	108	190	—	111

- (注) 1. 北海道運輸局資料による  
 2. 自動車に係る事業者は、管内で許可又は登録(旧法の登録)を受けた者を計上  
 3. 内航に係る事業者は、管内で管理している事業者を計上

### (2) 鉄道に係る貨物利用運送事業者数等

(令和5年3月31日現在)

事業種別	事業者数	拠点(取扱)駅数		
		J R	JR以外	合 計
第一種利用運送	9	27	2	29
第二種利用運送	190	561	1	562

- (注) 1. 北海道運輸局資料による  
 2. 拠点(取扱)駅数は、事業者の事業計画上の拠点駅の延べ数

### (3) 鉄道に係る貨物利用運送事業の取扱数量の推移

(単位:千トン)

年 度	第一種利用運送事業					第二種利用運送事業				
	車扱	コンテナ扱	混載荷物扱	手小荷物扱	計	車扱	コンテナ扱	混載荷物扱	手小荷物扱	計
30	0	678	—	—	678	0	5,966	9	—	5,975
元	0	611	—	—	611	0	5,760	6	—	5,766
2	0	607	—	—	607	0	5,602	3	—	5,605
3	0	584	—	—	584	0	5,265	6	—	5,271
4	0	568	—	—	568	2	5,246	7	—	5,255

- (注) 1. 北海道運輸局資料による  
 2. 千トン未満四捨五入

## 12. 内航海運業

## (1) 支局別内航海運事業者数

(令和5年3月31日現在)

支局別	内航運送業		内航船舶貸渡業		内航船舶管理業		計	
	登録業者	届出業者	登録業者	届出業者	登録業者	届出業者	登録業者	届出業者
本局(札幌)	1	6	2	1	0	0	3	7
函館	3	9	3	0	1	0	7	9
室蘭	0	7	1	0	0	0	1	7
苫小牧	1	6	0	0	0	0	1	6
釧路	0	10	0	1	0	0	0	11
旭川	1	3	0	2	0	0	1	5
帯広	0	3	0	0	0	0	0	3
北見	1	2	0	0	0	0	1	2
合計	7	46	6	4	1	0	14	50

- (注) 1. 北海道運輸局資料による  
 2. 上記の事業者数の内、登録業、届出業いずれも行っている者は登録業者に、届出運送業、届出貸渡業、届出管理業いずれも行っている者は届出運送業者に計上

## (2) 内航海運業船腹量の推移

区分	木船				鋼船				計			
	貨物船		その他		貨物船		その他		貨物船		その他	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
29	0	0	0	0	10	4,734	121	37,083	10	4,734	121	37,083
30	0	0	0	0	10	4,734	123	37,375	10	4,734	123	37,375
元	0	0	0	0	12	6,770	128	38,131	12	6,770	128	38,131
2	0	0	0	0	13	7,516	135	52,987	13	7,516	135	52,987
3	0	0	0	0	11	7,269	137	42,493	11	7,269	137	42,493
4	0	0	0	0	11	7,269	141	43,521	11	7,269	141	43,521
4/29	—	—	—	—	110.0	153.5	116.5	117.4	110.0	153.5	116.5	117.4

- (注) 1. 北海道運輸局資料による  
 2. その他は、油送船・引船・はしけ・台船の合計  
 3. 4/29は平成29年度を100として表している

## 13. 港湾運送事業

## (1) 港湾運送事業者数

(令和5年3月31日現在)

港 湾 許可種別	小 樽	函 館	室 蘭	苫小牧	釧 路	留 萌	稚 内	合 計
一 般 港 湾 運 送	2	2	6	6	3	2	2	23
無 限 定	2	2	4	4	3	1	1	17
い か だ 限 定								0
そ の 他 限 定			2	2		1	1	6
港 湾 荷 役	6	4	7	8	6	2	1	34
一 貫	2	3	6	6	3	2	1	23
船 内		1			1			2
沿 岸	4		1	2	2			9
は し け 運 送			1					1
い か だ 運 送					1			1
合 計 ( 許 可 数 )	8	6	14	14	10	4	3	59
事業者数(支店参入含む)	6	4	8	10	6	2	2	38
検数事業(届出人数)								102
鑑定事業(届出人数)								17
検量事業(届出人数)								89
主たる事業所所在地	札幌1、苫小牧4、室蘭1							
港湾運送関連事業								
固 定	8	2	16	40	10	1	3	80
区 画	7	2	16	37	10	1	3	76
荷 造	7	3	18	44	11	1	4	88
荷 直	10	3	18	45	11	1	4	92
清 掃	8	2	9	28	10	1	3	61
警 備	4	3	8	11	6	1	1	34
合 計 ( 業 種 数 )	44	15	85	205	58	6	18	431
事業者数(支店参入含む)	11	3	21	60	11	1	4	111

(注) 1. 北海道運輸局資料による

2. 港湾荷役の船内、沿岸は、港湾運送事業法改正(昭和59年法律第59号)に伴い、同法附則第3項の規定による届出のあった旧船内荷役事業、旧沿岸荷役事業をいう

## (2) 港湾別船舶積卸し量の推移(港運全体)

(単位：千フレート・トン、%)

年度	港別 項目	小樽	函館	室蘭	苫小牧	釧路	留萌	稚内	合計	前年 対比
		29	輸出入	645	350	7,524	13,679	3,024	449	5
	移出入	25	112	2,040	33,984	14,523	80	8	50,772	100.1
	計	670	462	9,564	47,663	17,547	529	13	76,448	102.2
30	輸出入	572	347	7,168	14,204	3,136	563	1	25,991	101.2
	移出入	19	112	2,168	34,076	14,460	74	10	50,919	100.3
	計	591	459	9,336	48,280	17,596	637	11	76,910	100.6
元	輸出入	597	312	7,390	14,496	3,320	255	4	26,374	101.5
	移出入	25	251	1,962	34,227	14,103	71	8	50,647	99.5
	計	622	563	9,352	48,723	17,423	326	12	77,021	100.1
2	輸出入	606	327	4,784	12,827	3,380	297	3	22,224	84.3
	移出入	17	537	1,798	34,539	14,372	58	6	51,327	101.3
	計	623	864	6,582	47,366	17,752	355	9	73,551	95.5
3	輸出入	543	167	7,845	13,815	3,408	191	38	26,007	117.0
	移出入	21	639	2,157	35,001	13,440	88	8	51,354	100.1
	計	564	806	10,002	48,816	16,848	279	46	77,361	105.2
4	輸出入	568	146	6,698	13,555	3,136	151	187	24,441	94.0
	移出入	31	527	2,031	35,675	13,022	123	6	51,415	100.1
	計	599	673	8,729	49,230	16,158	274	193	75,856	98.1

(注) 1. 北海道運輸局で集計している港湾荷役実績(船舶積卸し実績)  
 なお、港湾荷役実績とは指定港(北海道は上記の7港)で港湾運送事業者が作業を行った荷役の実績

## (3) 港湾別船舶積卸し量の推移(コンテナ)

(単位：千フレート・トン、%)

年度	港別 項目	港別							合 計	前 年 対 比
		小 樽	函 館	室 蘭	苫小牧	釧 路	留 萌	稚 内		
29	輸出入	434	173	156	6,273	804	0	0	7,840	109.4
	移出入	0	0	0	1,743	681	0	0	2,424	85.6
	計	434	173	156	8,016	1,485	0	0	10,264	102.6
30	輸出入	393	174	97	6,642	873	0	0	8,179	104.3
	移出入	0	8	0	1,586	621	0	0	2,215	91.4
	計	393	182	97	8,228	1,494	0	0	10,394	101.3
元	輸出入	407	171	134	7,508	995	0	0	9,215	112.7
	移出入	0	81	0	1,666	641	0	0	2,388	107.8
	計	407	252	134	9,174	1,636	0	0	11,603	111.6
2	輸出入	431	145	57	6,237	1,010	0	0	7,880	85.5
	移出入	0	177	3	2,340	729	0	0	3,249	136.1
	計	431	322	60	8,577	1,739	0	0	11,129	95.9
3	輸出入	379	8	210	6,847	879	0	0	8,323	105.6
	移出入	0	179	0	1,312	710	0	0	2,201	67.7
	計	379	187	210	8,159	1,589	0	0	10,524	94.6
4	輸出入	425	0	162	6,461	692	0	0	7,740	93.0
	移出入	0	174	0	1,274	740	0	0	2,188	99.4
	計	425	174	162	7,735	1,432	0	0	9,928	94.3

(注) 1. 北海道運輸局資料による

2. 12フィートコンテナは19.2トン、20フィートコンテナは32トン、40フィートコンテナは64トンで換算

## 14. 航空輸送実績

## (1) 航空貨物輸送量の推移

(単位:トン、%)

年 度	空港名													
	新千歳	丘 珠	函 館	釧 路	旭 川	女満別	帯 広	稚 内	中標津	奥 尻	紋 別	利 尻	礼 文	合 計
29	192,118	5	6,896	2,415	5,398	1,687	2,306	198	325	6	1	2	—	211,357
30	165,694	6	6,214	2,332	5,235	1,617	2,233	154	304	4	1	2	—	183,796
元	152,961	4	5,730	2,319	5,390	1,468	1,917	81	240	3	1	1	—	170,115
2	89,911	4	2,354	1,135	1,605	949	580	11	56	4	1	0	—	96,610
3	103,323	4	2,897	947	1,903	946	356	32	95	4	2	0	—	110,509
4	119,684	4	3,279	1,521	3,192	987	2,827	70	136	4	1	1	—	131,706
(指数)	( 90.9 )	( 0.0 )	( 2.5 )	( 1.2 )	( 2.4 )	( 0.7 )	( 2.1 )	( 0.1 )	( 0.1 )	( 0.0 )	( 0.0 )	( 0.0 )	( — )	( 100.0 )
4/29	62.3	80.0	47.5	63.0	59.1	58.5	122.6	35.4	41.8	66.7	100.0	50.0	—	62.3

- (注) 1. 「航空輸送統計年報」による  
2. 4/29は平成29年度を100と表している

## (2) 航空路線別貨物輸送量の推移

道 内

(単位：トン、%)

年度	区 分	札 幌	札 幌	札 幌	札 幌	札 幌	釧 路	函 館	函 館
	稚 内	釧 路	函 館	利 尻	中標津	女満別	函 館	旭 川	奥 尻
29	4	70	15	2	4	11	—	—	6
30	4	68	13	2	8	12	—	—	4
元	3	64	14	2	8	15	—	—	4
2	4	33	4	0	31	16	—	—	2
3	5	7	2	0	7	7	—	—	4
4	1	12	4	1	5	23	—	—	3
4/29	30.3	17.2	23.8	31.3	113.4	212.4	—	—	53.5

- (注) 1. 「航空輸送統計年報」による  
 2. 札幌とは、新千歳・丘珠両空港の合計値  
 3. 4/29は平成29年度を100と表している



対道外間

(単位:トン、%)

区分 年度	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	東京	東京	名古屋	大阪	東京	名古屋	大阪	東京	名古屋	大阪	東京	大阪	東京	東京	東京	東京	名古屋	大阪
29	194	2,331	—	14	6,645	61	169	5,369	25	4	2,305	—	321	1	1,663	7	7	
30	150	2,253	—	10	6,059	51	87	5,206	27	3	2,233	—	296	1	1,590	8	8	
元	79	2,075	—	1	5,609	46	58	5,358	28	6	1,918	—	233	1	1,434	7	14	
2	7	1,102	—	0	2,131	75	141	1,598	1	6	580	—	24	0	931	0	2	
3	27	938	—	1	2,685	86	119	1,901	2	0	356	—	89	2	938	0	1	
4	69	1,509	—	0	3,047	88	138	3,186	3	3	2,827	—	133	1	962	2	1	
4/29	35.7	64.7	—	0.0	45.8	144.4	81.4	59.3	14.0	71.3	122.7	—	41.4	70.1	57.8	22.4	10.7	

(単位:トン、%)

区分 年度	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	青森	花巻	仙台	秋田	福島	東京	新潟	富山	小松	静岡	名古屋	大阪	神戸	岡山	広島	松山	福岡	那覇
29	26	37	796	3	5	167,815	29	128	191	247	5,421	11,380	—	65	687	—	4,832	355
30	32	18	501	3	10	145,135	21	46	50	244	3,629	9,678	—	56	544	—	5,396	229
元	28	6	391	2	40	134,861	12	39	46	228	3,176	8,436	—	68	275	—	5,061	192
2	19	1	298	2	8	76,949	17	0	3	28	2,461	4,909	—	0	459	—	4,620	53
3	4	6	248	2	1	85,644	9	2	7	1	2,652	6,468	—	0	70	—	8,169	14
4	6	3	271	2	1	107,097	6	15	62	7	2,216	5,438	—	1	231	—	4,286	0
4/29	23.9	8.3	34.1	63.8	22.6	63.8	19.0	11.5	32.4	2.9	40.9	47.8	—	2.0	33.6	—	88.7	0.0

- (注) 1. 「航空輸送統計年報」による  
 2. 札幌とは、新千歳・丘珠両空港の合計値  
 3. 東京とは、成田・羽田両空港の合計値  
 4. 大阪とは、関西・大阪(伊丹)両空港の合計値  
 5. 名古屋とは、中部・名古屋(小牧)両空港の合計値  
 6. 4/29は平成29年度を100と表している

## 15. 北海道を中心とするフェリー航路の概要

## (1) フェリー航路

(令和5年9月30日現在)

航路(経路)	距離 km	所要時間		運航回数	事業開始 年月	事業者
		時間	分			
函館～大間	40	1. 30		1日2往復	H 20.12	津軽海峡フェリー(株)
函館～青森	113	3. 40		1日8往復	H 12.10	津軽海峡フェリー(株)
函館～青森	113	3. 50		1日8往復	H 12.10	青函フェリー(株)
苫小牧～八戸	242	7. 15		1日4往復	S 48.4	川崎近海汽船(株)
室蘭～八戸～宮古	354 [333]	11. 05 [10. 00]		1日1往復	H 30.6	川崎近海汽船(株)
苫小牧～仙台～名古屋	1,330	39. 30		2日1往復	S 48.4	太平洋フェリー(株)
苫小牧～仙台	560	15. 00		1日1往復	S 48.4	太平洋フェリー(株)
苫小牧～大洗	755	18:00		週12往復	H 13.7	商船三井フェリー(株)
小樽～舞鶴	1,061	20. 15		1日1往復	H 15.6	新日本海フェリー(株)
小樽～敦賀	1,022	19. 30		臨時運航あり	H 15.6	新日本海フェリー(株)
小樽～新潟	704	18:00		週6往復	H 15.6	新日本海フェリー(株)
苫小牧～秋田～新潟～敦賀	1,074	31. 20		週1往復	H 15.6	新日本海フェリー(株)
苫小牧～敦賀(直行便)	948	19. 30		1日1往復	H 15.6	新日本海フェリー(株)
苫小牧～秋田～新潟	637	17. 50		週5往復	H 15.6	新日本海フェリー(株)
江差～奥尻	61	2. 10		1日1～2往復	S 24.12	ハートランドフェリー(株)
瀬棚～奥尻(休止中)	43	1. 35		5月1日～10月15日 1日1往復	S 52.7	ハートランドフェリー(株)
稚内～利尻	52	1. 40		1日2～3往復	S 24.12	ハートランドフェリー(株)
稚内～礼文	59	1. 55		1日2～4往復	S 24.12	ハートランドフェリー(株)
利尻～礼文	19	0. 40		1日1～3往復	S 24.12	ハートランドフェリー(株)
羽幌～焼尻～天売	35	1. 35 [1. 00]		1日1～6往復	S 24.12	羽幌沿海フェリー(株)

- (注) 1. 北海道運輸局資料による  
2. 羽幌～天売航路の〔 〕書きは高速船  
3. 室蘭～八戸～宮古の〔 〕書きは宮古発室蘭便(八戸経由せず)  
※令和2年4月より八戸～宮古は休止  
※令和4年2月より室蘭～八戸は休止








